

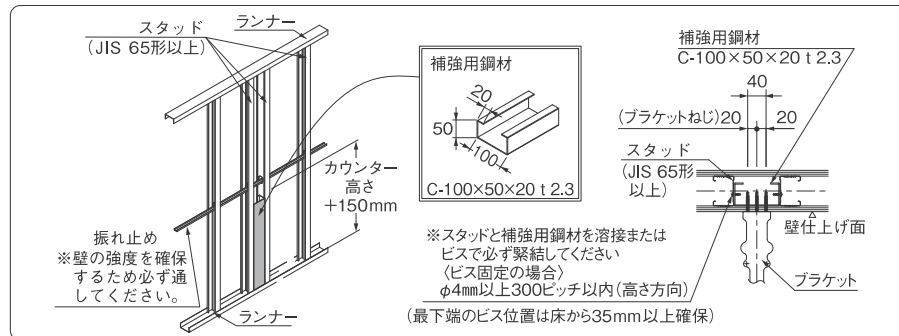
マーブライトカウンター

4. 壁固定仕様を確認する

軽量鉄骨の場合（その他の壁構造の場合は464ページをご参照ください）

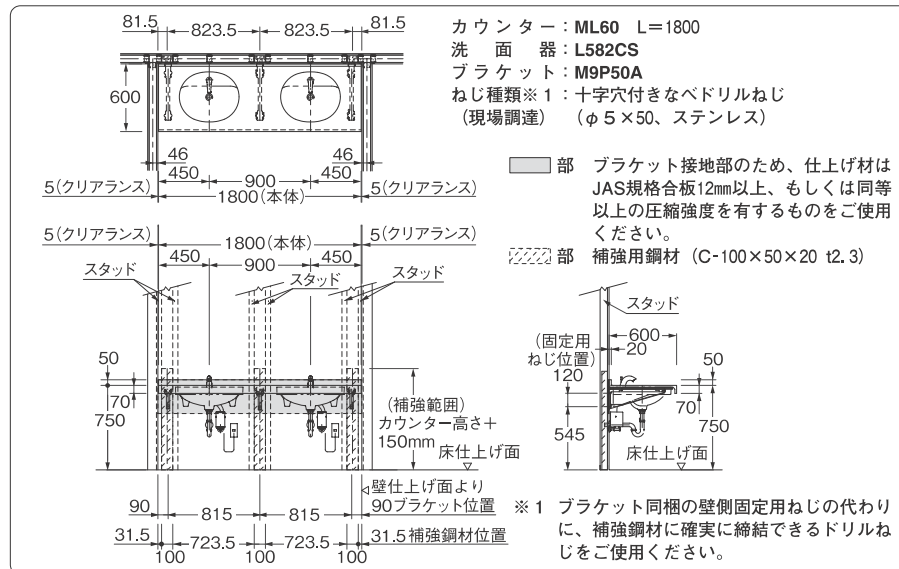
4.1. 骨組みについて

- ① 軽鉄下地はJIS 65形以上をご使用ください。
 - ② 壁補強金具はC形チャンネル（100×50×20mm）のt 2.3mmを使用ください。
 - ③ スタッドと補強用鋼材を溶接またはビスで必ず緊結してください。
- ※スタッドと配管が干渉する場合は、補強用鋼材もしくは同等以上の補強材を配管と干渉しない位置に設置してください。



4.2. 壁仕上げについて

上記骨組みの場合の壁仕上げは、取付強度を保つため厚さ12mm以上の構造用合板（JAS規格品）、または同等以上の強度を有する材料（硬質石膏ボード12.5mm等）の下地材に取り付けてください。上記内容は軽鉄枠でのブラケットの引き抜き強度を考えた補強を示した例であり、カウンター・ブラケットが接触する下地材が石膏ボードなどで吸水による強度低下や、圧迫による割れなどが想定される場合は強度が確保できる仕上げ材に変更いただくよう配慮願います。

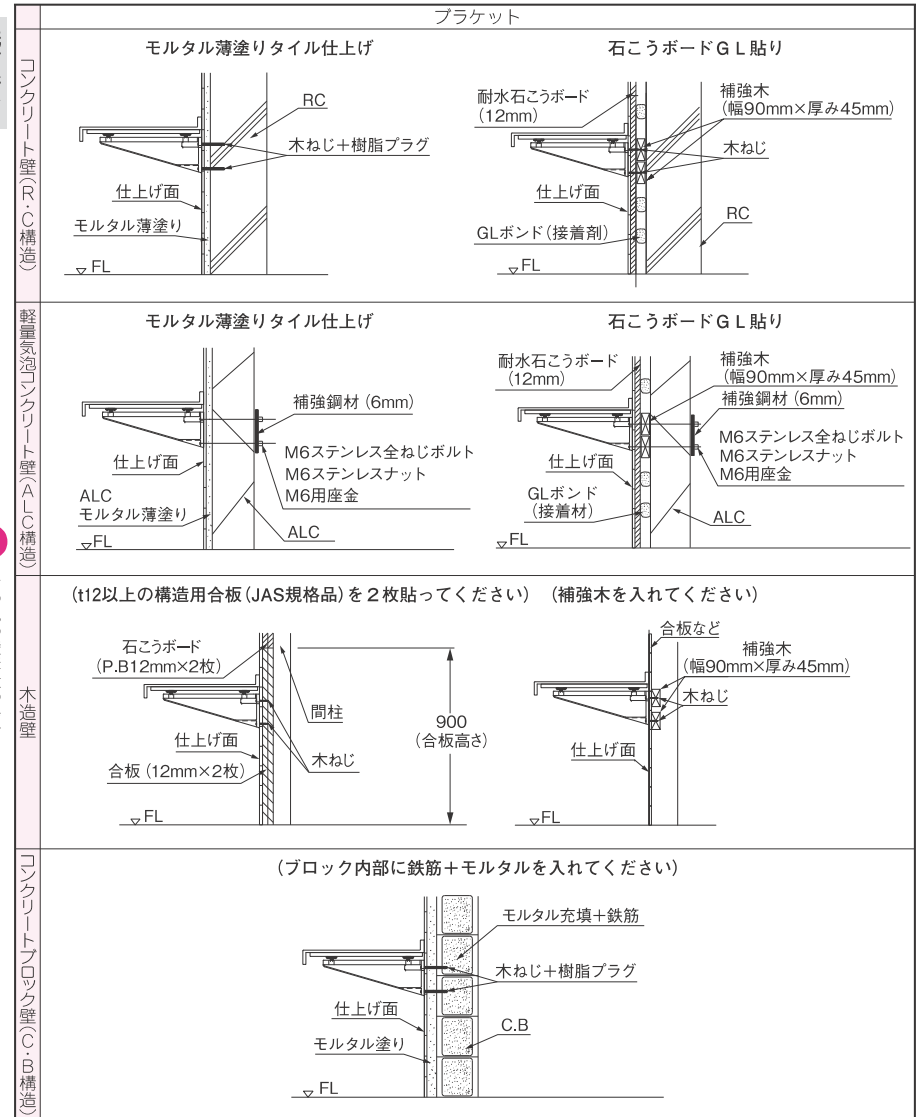


洗面所 / コーディネイター

ML

マーブライトカウンター

その他の壁構造の場合



洗面所 / コーディネイター

ML

その他の壁構造の場合

※木ねじ（φ5.8×63）のみブラケットに同梱されています。

壁構造に応じて必要な部材を現場調達してください。

※フロントパネルの場合も同様です。

5. 現場加工方法

現場加工方法の詳細については、カウンターカタログ（No. 107）をご覧ください。